



富山・金沢旅行 (2014)

2014年3月8～9日、はじめての青春18きっぷ

青春 18 きっぷ「富山・金沢旅行記」

ムーンライト信州

3月8日、午前零時を過ぎたので豊田駅に入り、日付のスタンプを押してもらう。



ここにはムーンライト信州は停まらないので八王子駅まで移動する。だが、八王子駅に着いても行先案内がムーンライト信州の時刻 (0:40発) を表示していない！ もっと遅い出発時間 (0:42発) は表示されているのに！ 時間、間違えてないよな、と心配になり改札の人に尋ねたら15分ほど遅れているらしい。着くのが早すぎてすることもないのに、さらに遅れているとは。もちろん待っていれば、いつかは到着する。



ムーンライト信州は寝台特急ではないどころか、終着駅の白馬まで20以上の駅に停車する。車内灯はつきっぱなしなのでずっと明るい。明るくて寝られないという性分でもないが、夜更かしが続いていたので、結局終点まで寝られなかった。ちょっと驚いたのが通路にブルーシートを敷いて寝ていた人がいたことだ。最初は車掌に何か言われていたようだが、そのうち無視されるようになった。これも「達人の技」なんだろうか。



塩尻駅のように停車時間が長いときは、外に出て写真も撮れる。



青春 18 きっぷ「富山・金沢旅行記」

白馬到着

5:40に白馬に到着。電車の前面には雪でこびりついている。ホームも雪かきされていた。3月とはいえ、寒いわけだ。



到着した頃は、まだ暗かった。次の電車の出発は6:56で1時間以上も余裕がある。改札を抜けて、外に出た。



事前に調べたときは食べるころはなさそうだったが、そば屋が営業していた。ムーンライトが運行されるときだけ営業しているのかもしれない。私は何もないつもりでおにぎりを買っていたので、それを食べた。



白馬駅には「第一回 日本雪合戦選手権」という、ちょっと面白い開催告知ポスターが貼られていた。ちょうどこの週末が開催日ようだ（だからといって見に行こうとは思わなかったが）。

地域おこしのために企画したイベントで、ともすれば第一回だけで盛り上がらず終わってしまうのではないかという気がするものだったが、その後も続いているようだ。

※公式サイトは <http://www.jyf.or.jp/>



青春 18 きっぷ「富山・金沢旅行記」

白馬から富山・金沢へ

白馬を出発する頃には、すっかり明るくなっていた。次は南小谷（みなみおたり）へ向かう。この電車は白馬始発ではないが座れた。南小谷もすっかり雪景色だった。



ホームにあった除雪車(?)



南小谷の到着は7:15で、出発は7:51。電車は早くから到着していたが、時間があるので周りで写真を撮っていたりした。これがいけなかった。電車はバスのような小さな2両編成で、座席が少ない。次の区間は1時間近くかかるのに座れなかった。



それでも窓の外を眺めたり、スマホで音楽を聴いたりしてるうちに糸魚川に到着。糸魚川駅での乗り換え時間は6分しかなく、急いで北陸本線の富山行に乗り換えた。途中、魚津と東滑川の間から見える「魚津ミラージュランド」の観覧車は、アニメ「Another」の12話に出てきたらしい。ただ、アニメと見比べてみると、そんなにソックリでもない。



青春 18 きっぷ「富山・金沢旅行記」

富山から金沢へ

10時過ぎに富山に到着。雪が降っていた。ここからさらに金沢に向かうのだが、出発まで1時間以上ある。少し早いので、いったん改札を出て昼飯を食べることにした。



立ち食いそば屋で、かき揚げそばを注文。。



せっかく富山に来たので「ますの寿司」「ぶりの寿司」を一切れずつオマケした。



さらに、ここで宿泊するホテルを検索。事前に予約していなかったが、当日限定の安いプランのあるホテルを予約できた。

金沢行の電車は11:10発、12:20着。特急を使えばずっと早く、11時には着くものだけれど、せっかく青春18きっぷを使っているのだから普通で往復することにしたのだ。



兼六園

教科書で見たのか、テレビで紹介されていたのか、どんなきっかけがあったか覚えはないのだが、兼六園は行ってみたいと思っていた場所である。そうは言っても、わざわざそのためだけに行かないだろうと思っていたので、今回はいい機会だった。

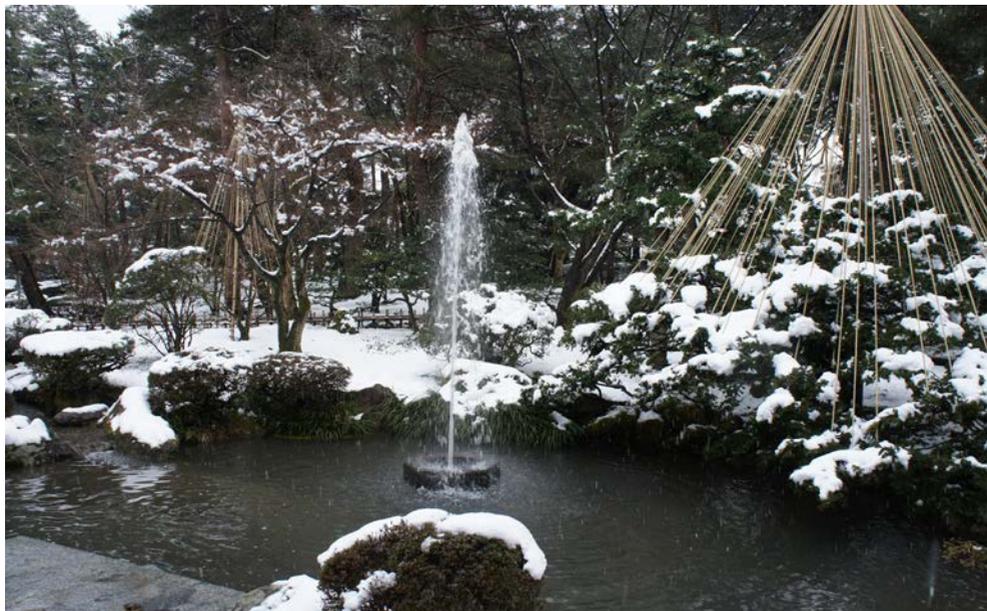
金沢駅で観光案内所で兼六園への行き方を尋ねると、2つのバス路線があり、どちらでも同じということだった。出発時間の近かった「まちバス」という方に乗ったら、やたら込んでいたが、ほとんどの人は途中の停留所で降りてしまった。「兼六園シャトル」の方がよかったのではないかと。なんだか時間もかかったし、降車する場所も違った。



兼六園に到着。



世界最古の噴水。



霞ヶ池。







左側が唐崎松。



池の反対側から。



栄螺山のとっぺんにあるカラカサ。



ときどき雨が降ってきて雪道というよりシャーベット道になっている。



甘味処。



あんころ餅（400円）を食べた。



瓢池（ひさごいけ）。



雪だけでなく雨も降ってきたり、そうかと思うと晴れたりして、天気には恵まれなかったも思ったが、一度にさまざまな風情が味わえたかと思うと、これはこれで幸運だったのかもしれない。

記念写真。



金沢城

兼六園をまわった後、隣の金沢城に行った。桂坂口から行けば、すぐに金沢城に移動できたのだが、それを知らずにずいぶん遠回りをしてしまった。



石川門から入る。



鶴の丸休憩所前。



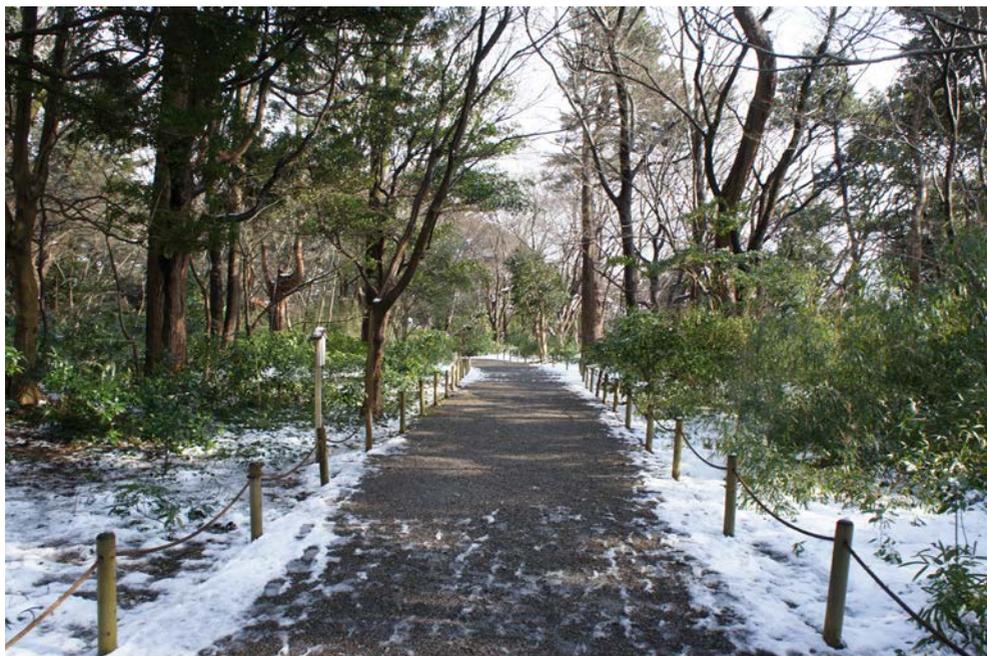
橋爪門復元工事の見学台は雪のため閉鎖されていた。



雪の金沢城。



本丸園地の歩道。



鶴丸倉庫。



石川門石垣（左側は「打ち込みハギ」、右側は「切り込みハギ」）。

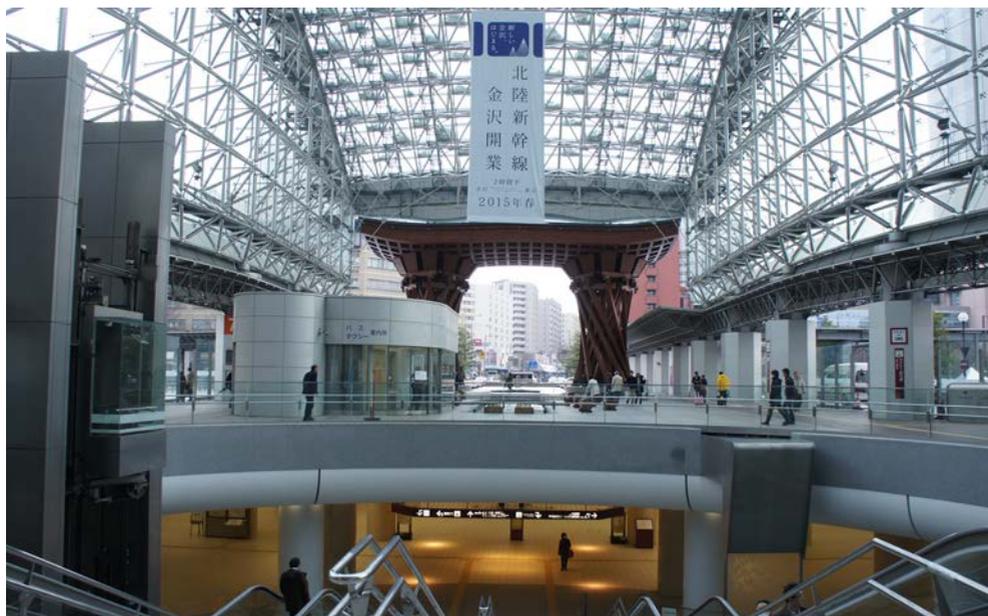


金沢駅

もっとゆっくりしていてもよかったが、一通り見て回ったので、バスで金沢駅に戻った。金沢駅では北陸新幹線開業を大々的に宣伝していた。よく見ると金沢駅はずいぶん凝った形状をしている。ガラス張りの建造物は「もてなしドーム」といい、後で知ったが「世界で最も美しい駅」の一つに選定されたこともあるらしい。



翌年に開業する北陸新幹線もあちこちで宣伝していた。



観光案内所に行くと「花咲くいろは」のポスターが貼ってあった。「聖地」の成功例として知られている。今回は行かなかったが機会があったら訪れてみたいところだ。



これも話題になったものだが、取り下げずに済んでいるようだ。



富山で宿泊

午後6時に富山に到着。すっかり暗くなっていた。ホテルは少し離れた場所にあり、セントラムという路面電車を使うよう案内されていたのだが、乗り場がよくわからずそのまま歩いて向かった。



ときどき雪が降っていたこともあり、道路から雪を解かすための水が噴き出していた。できれば横断歩道では赤信号のときにやってほしいものだ。



歩いている途中で、乗るつもりだった路面電車（セントラム）を見かけた。



夜の富山城。



ホテルにチェックインした後、無料でサービスされるラーメンを食べた。ムーンライトで寝られず、よく歩いて疲れていたせいか、部屋に戻ったら、電気をつけたまま寝てしまった。ただ、3時頃に目が覚めた後にはしばらく寝られなくなってしまった。

チェックアウト

朝食バイキングがはじまる6時半に間に合うよう目覚ましをかけていたが、なかなか起きられず7時過ぎになってしまった。今回は全体的に安くあげようと思っていたので「ホテルの朝食」なんて利用するつもりはなかったが、バイキング形式でますの寿司や氷見うどんなど地元モノが食べられるというので、つい手を出してしまった（1100円）。



おかわり



デザート

8時半頃にホテルをチェックアウト。今回の宿泊は、当日に空きがあるときだけのプランであろう「当日限定プラン」で（その代り少しだけ安い）、もともとチェックアウトが9時だった。

ホテルから駅までの無料バスもあったが、ここは近くから観光場所を“制覇”しようと考えていたので、歩いて出かけることにした。

頼りになったのが、観光案内所でもらった「ちょこたび富山市」という観光ガイドである。これは富山市のサイトでもPDFが公開されており、駅周辺から徒歩、あるいは交通機関などで気軽に行ける場所がわかりやすく案内されていて便利だった。



寺院群めぐり

ホテルを出て向かったのが南側の梅沢町界隈寺院群めぐり。興味があったのは「富山」という地名の由来となったという富山寺（「とやまでら」ではなく「ふせんじ」と読むらしい）と本陽寺にある「古代の蓮」。



とくに蓮に惹かれたのは、私の出身地がレンコンの産地だからだ。レンコン、つまり蓮根はハスの根であり、近所の田んぼで普通に作られていた。そして、その実は子ども時代のおやつにもなっていた（けっこうウマイ）。もちろん、この時期に蓮の花を見ることはできないが、これが二千年昔の蓮なのかと、これもまた感慨深い思いがあった。



市内めぐり

他にも寺院群をまわってみた。



寺院群から戻った後は商店街を通った。まだ10時前なのでほとんどの店が閉まっている。決して「シャッター通り」というわけではない。もっとも、買い物したいものがあるわけではないので、そのまま素通りした。



路面電車。



富山城

前の日の夜に通りがかった富山城に行ってみた。後で知ったが、由緒正しき天守、ではなく、比較的最近（昭和29年）に鉄筋コンクリートで建築された「模擬天守」らしい。どうりで新しい感じがしたわけだ。



内側は公園のようになっていた。天守の入り口には「郷土資料館」という看板がかかっていた。なるほどね。



反対側からみたようす。



「本物」の痕跡はここに。



展望塔

富山城を出て少し歩くと「ノーベル街道モニュメント」があった（「ノーベル街道」は、2015年の梶田隆章氏のノーベル賞受賞でも話題になった国道41号の別名である）。



観光ガイドを見ると市役所に展望塔があるらしいので、行ってみることにした。



ここも、なかなかよかった。たまたま一緒にいた人が「今日はもやがかかって、山が見えないかもね」と言っていたが、大丈夫だった。遠くの山も見える。市街も見える。駅も近い。前日の雪の兼六園もよかったが、この日は晴れて本当によかった。



富岩運河環水公園

荷物が重かったなので、いったん駅のコインロッカーに預け、観光ガイドで行き先を考えた。あまり下調べをしていなかったのだ。とりあえず呉羽エリアに行くことを考えたが、路面電車の時間を見たら1時間ごとの出発時刻を過ぎたばかりだった。一方、富山ライトレールでポートラムに乗れば富山港まで行けるようだが、こちらも出発したばかりだった。ちょうどホームから出たばかりで赤信号で停まっている。もう少しで乗れたのに。



そこで駅の北側を歩いてみることにした。



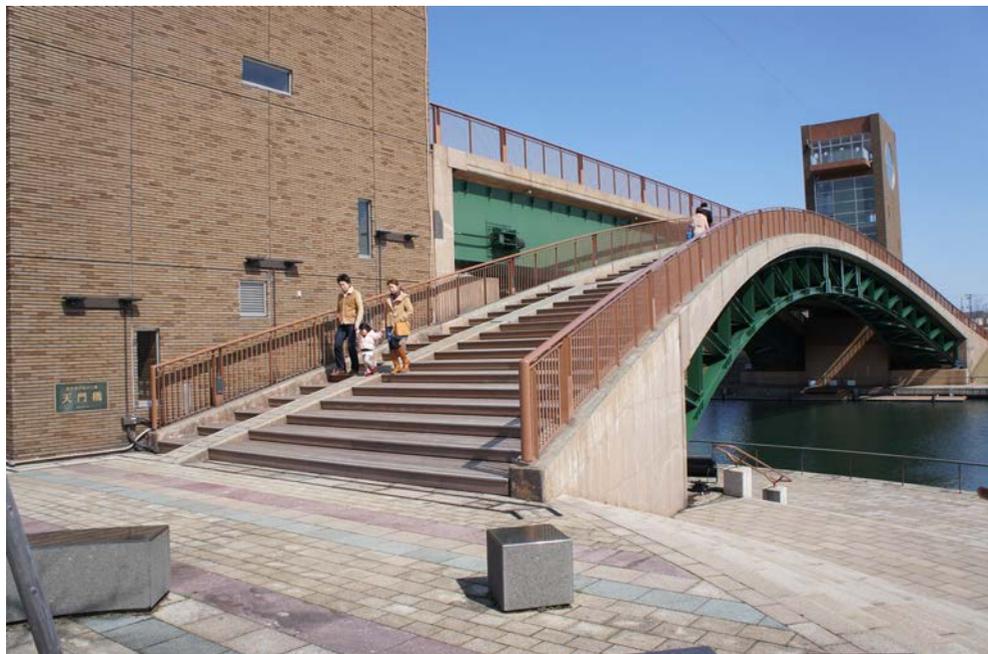
しばらくしてたどり着いたのが富岩運河環水公園だ。ここもいい場所だった。



運河を整備した公園だそうで、奥には2つの展望塔がある。この2つの展望塔の間を糸電話で会話ができるらしい。ただし、この日はやっていなかった（どうせ一人旅だから相手はいない）。



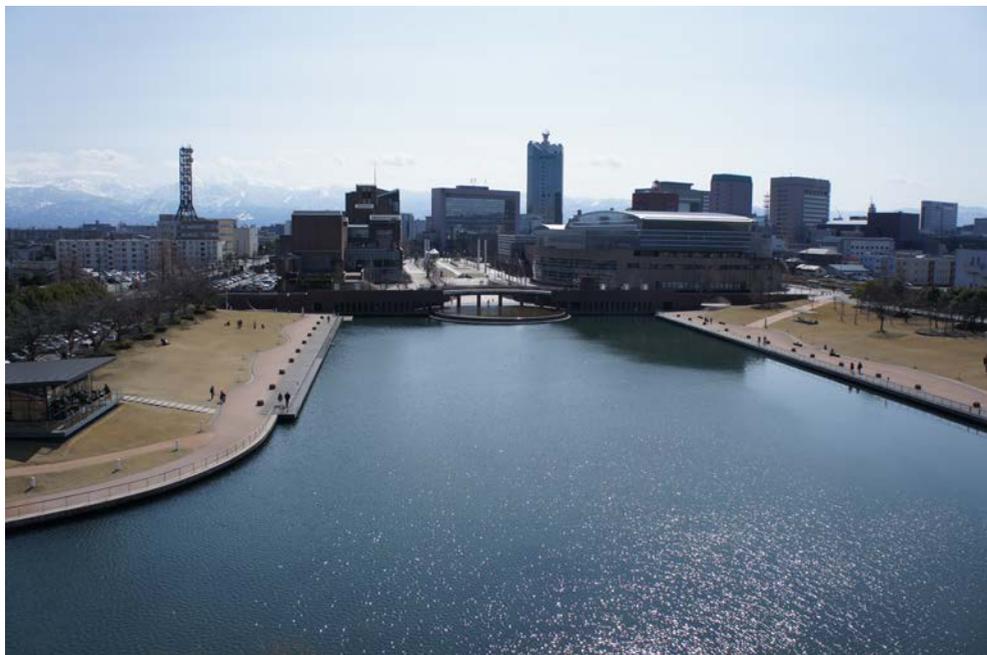
展望台のそばにある天門橋。



反対側にスターバックスがあった。



展望台からの眺め。



展望台どうしをつなぐ糸電話の糸。



青春 18 きっぷ「富山・金沢旅行記」

富山港

思わぬ時間を費やしてしまった。富山駅北口に小走りで戻り、なんとか11:30発のポートルムに乗る。戻り道の途中からインテック前駅に向かう方が近かったのだが、ここは始発駅から乗ってみようと思ったのだ。ライトレールは最初は路面電車とっていたが（実際、最初は道路上の線路を走っているのだが）、知らぬ間に専用の線路を走行していた。すれ違い以外は単線で、民家のすぐ近くを走っている。終点の岩瀬浜までは20分強。



岩瀬浜駅に到着。



岩瀬浜に到着後、岩瀬カナル会館で少しばかり土産物を物色。



「水辺のプロムナード」と呼ばれる場所を通過して富山港に向かった。



青春 18 きっぷ「富山・金沢旅行記」

ここにも展望台があったので昇ってみた。富岩運河環水公園の展望台にはエレベーターがあったが、ここは階段しかない。



展望台から見た富山港。



岩瀬の町並みと山々。



展望室。



大町新川町通り

次に、観光ガイドの案内にあった「北前船廻船問屋 森家」に入った。観覧料100円。紹介されていた「名物館長のガイド」を聞いていたが、かつてのオーナーが倉敷の大原美術館の人と聞いて驚いた。前年11月に仕事で岡山に出張したとき、倉敷近くのホテルに泊まったので、めずらしく「ついでの観光」を楽しんでいたのだ。大原美術館は前を通っただけで中には入らなかったが、意外な接点だった。



棟方志功の版画（全部で4枚。通常飾られているのはレプリカ）。



隣は北陸銀行岩瀬支店。



現存する最古の北日本新聞販売店だとか。



青春 18 きっぷ「富山・金沢旅行記」

帰京

東若瀬からポートルムに乗ってふたたび富山駅へ戻った。南口と北口は地下通路でつながっているのだが、さっきは「青春18きっぷ」を使ってホームを使って移動したので、今回は地下通路に行くことにした。これは地下通路にあったからくり時計。



南側は、ちょっとわかりにくい場所に出た。というより、明らかに遠回りだった。駅では、特急が車両不具合で取りやめになったことをアナウンスしていた。そのせいで普通列車に大勢の乗客が乗り込んでくることになったのだが、遅れることはなかった。ベーカリーでパン類を買い、その他おやつなども買って、帰路の準備は完了だ。



富山駅にあった北陸銀行のポスター（画はP.A.Works）

富山を15:05に出発して色々乗りついで帰るのだが、これが長い。9時間近くかかる。

また、事前に調べておかなかった方が悪いが、途中の直江津から六日町の北越急行はJRではなく第3セクターの運行で「青春18きっぷ」が使えなかった。この間の運賃950円。ただ、ここを使わないと出発を2時間近く早める必要があったので、事前にわかっていてもこの経路を選んだだろう。



なお、北陸新幹線開通後は、北陸本線の一部が「えちごトキめき鉄道」という第3セクターの運行になっており、さらに使えない区間が増えている。現地で動ける時間を考えた上で「安上がりな旅」を目指すなら高速バスの方がよいかも

しれない。また、この当時でも同じホテルで新幹線と特急を組み合わせた比較的安価なツアーはあった。

とはいえ、初青春18きっぷの旅は金沢・兼六園や富山めぐりを堪能することができ、とても満足している。





富山・金沢旅行(2014)

2014年3月8～9日、はじめての青春18きっぷ

富山・金沢旅行(2014)

2014年3月8～9日、はじめての青春18きっぷ